

No.3 穂高・小岩岳地区

—— 山麓の城址と天蚕を訪ねて ——

ピフ穂高を起点に穂高山麓の小岩岳城跡、小岩岳集落、天蚕センターをめぐるコースです。高台の展望台からは安曇野が一望でき、小岩岳集落には屋敷林や石垣などの歴史的まちなみが残っています。天蚕センターでは、「繊維のダイヤモンド」と呼ばれる天蚕の歴史や、ヤマコの生態を知ることができます。



小岩岳集落のまちなみ



小岩岳の道祖神



ピフ穂高



安曇野市天蚕センター



天蚕センターの展示室内部



のろし展望台からの眺め



小岩岳城跡



八面大王の足湯

◆コースタイム ※時間は歩速 3km / 毎時としての目安です（休憩含まず）。

スタート ピフ穂高→約 0.4km * 8 分→八面大王の足湯→約 1.0km * 20 分→小岩岳城跡→約 0.6km * 12 分→のろし展望台→約 0.9km * 20 分→小岩岳の屋敷林→約 1.8km * 35 分→安曇野市天蚕センター→約 0.7km * 15 分→ゴール ピフ穂高 【合計】 約 5.4km * 1 時間 50 分

①八面大王の足湯

安曇野に伝わる伝説の八面大王をモチーフとした足湯です。中央には喜怒哀楽を表わした八つの顔を持つモニュメントがあり、冬の夜はイルミネーションに彩られます。



②穂高温泉郷

穂高温泉郷といっても温泉旅館街があるわけではなく、松林の別荘地の中に旅館や保養所などが点在しています。ここから約20分上流の名湯・中房温泉の湯を引湯し、源泉は約80度、泉質はアルカリ性単純泉です。



③小岩岳城跡 ※安曇野市史跡

戦国時代の古厩郷の武将・古厩氏の宿城と考えられています。前面に三段の郭を構え、山頂に至る間にいくつかの帯郭や堀切を設け、水源もあり矢竹も自生しています。この城を舞台に武田軍との間で激しい戦いがありました。



④のろし展望台

近年の城址公園の整備に合わせて、砦門やあずま屋とともに造られました。山麓の松林の向こうに、安曇野の田園風景が一望できます。



⑤小岩岳の屋敷林

小岩岳へと続く古い街道沿いの屋敷林です。堀に囲まれた屋敷内には本棟造の主屋や土蔵が建ち並び、歴史的なたたずまいが残っています。

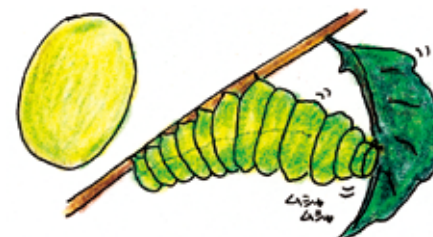


⑥安曇野市天蚕センター

「繊維のダイヤモンド」といわれる天蚕についての資料を集め、ヤマコの卵から繭まで、繰糸から機織りの過程、天蚕織物の製品などを展示しています。作業棟では機織り作業を見学でき、天蚕製品などの販売もしています。

◇開館時間：9：00～17：00（11月～3月は9：00～15：00）入館料：無料 月曜定休

☞安曇野豆知識 p.26



⑦しゃくなげ荘

穂高温泉郷の松林の中にある、昭和48年創業の市営温泉宿泊施設です。外来入浴も可能で、地元の利用客も多く訪れます。隣接して日帰り専用の「温泉健康館・穂高ヘルスハウス」もあります。

◇営業時間：9：30～20：00

入湯料：大人400円・小人200円 年中無休



—— 小岩岳の道祖神 ——



a 道祖神 握手像

文化7年（1810年）

肩を組み手を握り合い、ぴったりと頬を寄せ合っているほほえましい姿です。庚申塔や二十三夜塔などと一緒に並んでいます。

☞安曇野豆知識 p.26